

秋の香りに包まれて

寄居みかん狩り



今年も寄居のみかん園がオープンしました。寄居のみかんは、低い場所よりも高い場所の方が暖かいという盆地特有の逆転現象を生かして栽培されていて、昔ながらの甘酸っぱい味が特徴です。波久礼駅から小林みかん山までは徒歩約30分、風布みかん山までは徒歩約40分です。寄居みかん狩りへ、ぜひお出かけください。

▶期間/12月中旬まで

▶入園料/600円

(園内試食自由、おみやげ付)

☎ 寄居町観光協会 (☎ 581・3012)

商工観光課 (☎ 581・2121内線451・453)

風布みかん山(たちばな園 ☎ 581・4977)

小林みかん山(みはらし園 ☎ 581・5334)



中心市街地の今を発信!

Chukatsu NOW



寄居駅南口駅前拠点施設のオープンに向けて。

町では、“笑顔あふれる、誇れるまち”を実現するため、賑わい創出の拠点として町の顔となる、寄居駅南口駅前の施設と広場の建設準備を進めています。令和5年度のオープンに向けて、地元代表の方や専門家の方など、多くの方々のさまざまなご意見をもとに、仕様や機能の検討を行ってきました。このたび、検討結果を踏まえた「寄居駅南口駅前拠点施設」の設計がまとまりましたので、お知らせします。

施設イメージ図



施設設計概要

この施設は、駅前に立地することからも、町の顔としての役割を持ち、新たな町のランドマークを目指しています。

寄居の山並みから着想を得た、屋上へとつながる回遊式のスロープと、ガラス張りの開放的な建物が来訪者をおもてなします。

また、観光案内や農産物・特産品販売などを通じ、寄居を知ることができ、休憩スペースや多目的スペース、待合スペースなどを設け、誰もが気軽に立ち寄りすることができる施設となっており、寄居駅南口の周辺整備とも連動し「憩う、体験する、学ぶ」ことができる施設として設計しました。

建設地：寄居1231番11外
用途：駅前交流施設
敷地面積：393.49㎡
延床面積：482.556㎡
木造2階建て※屋上あり
主な機能：観光案内、移住相談窓口、農産物・特産品販売、休憩スペース、多目的スペース、観光トイレ等

今後は、この設計に基づき、拠点施設の建設工事に着手する予定となっています。オープンに向けて工事を進めるとともに、管理運営方法や活用方法の検討を行い、より多くの方が訪れ、寄居町の魅力を感じていただける施設となるよう準備を進めていきます。進捗については、随時、本誌や町公式SNS等でお知らせします。工事の際、近隣の皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

☎ 中心市街地活性化推進室 (☎ 581・2121内線431・432)

日本の里 2021 Autumn

日本の里は、親水公園、水車小屋、風布館(レストハウス)を持つ風布川沿いにある施設です。これからの季節、施設内の紅葉は見頃となり、付近では、寄居みかん狩りが最盛期を迎え、里山の自然の豊かさを感じることができます。また、風布館では10月から料理の提供を再開し、新メニュー「プルポティーヤ」「かすうどん」の販売を始めました。

▶開館時間/午前10時～午後5時
(ラストオーダー午後4時30分)

▶休館日/水曜日、年末年始

▶住所/風布74

☎ 日本の里風布館 (☎ 581・5341)

商工観光課 (☎ 581・2121内線453)

INTERVIEW

風布の憩いの場を目指して

昨年の11月から風布館で活動し、風布の四季を肌で感じてきました。たくさんの方に風布の魅力を感じていただき、憩いのひとときを過ごせる場所を目指します。



風布館長 田島國士さん
(指定管理者 あゆみホーム株式会社)

■ 風布館新メニュー ■



かすうどん 700円

ホルモンを脂肪分が抜けるまで低温でカリカリに揚げたもの(かす)をのせた手打ちうどんです。



プルポティーヤ 600円

豚肉の塊を低温でじっくり10時間ほどかけて火に通し、細かくほぐしてソースを絡めたもの(プルドポーク)を、小麦粉で作った薄焼きのパン(トルティーヤ)と一緒に巻いた風布館オリジナルの料理です。



みかん園や日本の里にお越しの際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用等、感染症対策の徹底をお願いします。